

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 木曜日・5 校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生体の構造 - 骨と関節のかたち (Structural and Molecular Biology - Physiological structure of bones and joints)		
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:弦本敏行 /Eメールアドレス:tsurumot@nagasaki-u.ac.jp /研究室:附属病院・整形外科 /TEL: 7321 /オフィスアワー: 18:00-19:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: ヒトの骨・関節の機能と構造の理解を通して、生物のからだの成り立ちに関する一般教養を深めること 授業方法: 授業中に配布するプリントの内容に沿って授業を進める 授業到達目標: 骨と関節の構造に関する生理学的意義を理解すること			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 各関節ごとにそれぞれの構成要素の解説を行い、構造の機能生理的意義に関する理解を深める。  第1回 総論;骨・関節の機能と構造 第2回 肩関節 第3回 肘関節 第4回 前腕関節 第5回 手関節と指 第6回 股関節 第7回 膝関節 第8回 足関節 第9回 足と趾 第10回 脊椎総論 第11回 骨盤と仙腸関節 第12回 腰椎 第13回 胸椎 第14回 頸椎 第15回 総括			
キーワード	骨、関節、構造、生理		
教科書・教材・参考書	とくに指定しません		
成績評価の方法・基準等	毎回の授業中に実施する小テストの合計点で評価します		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			